

北朝鮮当局による拉致問題の早期解決について

《提案・要望の内容》

○松本京子さんをはじめとするすべての拉致被害者の一刻も早い帰国を実現するため、首相の強いリーダーシップの下、政府一体となり毅然とした取組を行い、現在のこう着状態の打開を図ること。

※このたびの金正日労働党総書記（国防委員長）の死去で、北朝鮮の体制が大きく変わり、拉致問題に転機が訪れる可能性がある。

※松本京さんは、本年10月21日をもって、拉致されてから丸34年が経過する。

お母さんの三江（みつえ）さんは齢を重ねられながらも（88歳）、娘の帰国を待ちわびている。兄の孟（はじめ）さんは、「これが拉致被害者救出の最後のチャンスかもしれない」として、政府に早期解決に全力を挙げるよう望んでおられる。

<参考>

【政府認定拉致被害者】

①松本京子さん（まつもと きょうこ 米子市出身、当時29歳）：昭和52（1977）年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明。

※平成18（2006）年11月20日、政府が拉致被害者と認定（全国で17人目、県内初）



【特定失踪者（拉致の可能性が指摘されている人）】 ※特定失踪者問題調査会の公表による

②古都瑞子さん（ふるいちみずこ 日南町出身、当時47歳）：昭和52（1977）年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。

※平成19年6月、特定失踪者問題調査会は、調査の結果「拉致の可能性が高い」と判断

平成19年8月、米子警察署に告発状（所在国外移送目的略取誘拐罪）を提出。



③矢倉富康さん（やくらとみやす 米子市出身、当時36歳）：昭和63（1988）年8月2日、一人で出漁して行方不明。精密工作機械製作の元エンジニア。

※平成19年6月、特定失踪者問題調査会は、調査の結果「拉致の可能性が高い」と判断

平成19年10月、米子警察署に告発状（所在国外移送目的略取誘拐罪）を提出。



④上田英司さん（うえだえいじ 伯耆町出身、当時20歳）：昭和44年（1969）11月4日、「京都に行ってくる」と東京の下宿家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。

